



NS Solutions

NIPPON STEEL

2024年3月期決算 並びに 「NSSOL 2030ビジョン」説明会

2024年4月26日

日鉄ソリューションズ株式会社

代表取締役社長 玉置 和彦

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

皆さんこんにちは。社長の玉置です。

本日はお忙しい中、当社決算説明会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日15：00 に発表いたしました決算と、今般策定いたしました新しいビジョンである「NSSOL 2030ビジョン」の内容についてご説明いたします。

目次

Executive Summary

I. 2024年3月期 実績

II. 2025年3月期 見通し

III. 2021-2025年度 中期事業方針の進捗

IV. 「NSSOL 2030ビジョン」の概要

V. 参考資料

Executive Summary

2024年3月期 実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上収益、売上総利益、営業利益、当期利益共に見通しを上回りいずれも過去最高を記録 ● 年間配当85円/株 (対見通し+5円/株 配当性向 32.1%)
2025年3月期 見通し	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内IT投資は引き続き堅調に推移と予想 ● 売上収益3,300億円(対前期+6%)、営業利益360億円(+3%)の計画 ● 配当性向目安を50%に引上げ、株主還元を強化 年間配当134円/株 (株式分割前ベース 対前期+49円/株の予定)
中期事業方針 の進捗	<ul style="list-style-type: none"> ● 売上成長率、注力領域成長率共に計画を上回るペースで進捗
2030ビジョン の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期外部環境とITメガトレンドを踏まえ、今後の当社の目指す姿を「NSSOL 2030ビジョン」として策定 ● 新たなビジネスモデルへの転換と新領域への積極的な進出を図る。 ● 2030年代のできるだけ早期に営業利益 1,000億円レベル、営業利益率 20%レベル、ROE 15%レベルの事業構造実現を目指す。 ● ビジョンの具現化に向け2025-2027年度中期経営計画の策定に着手
株式分割	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年7月1日付けでの株式分割を決定(1:2)

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3

まず最初に、本日のサマリーをお話しします。

前期の実績は、堅調なIT需要の下、売上収益、営業利益ともに当初の見通しを上回り、過去最高を更新いたしました。

当期につきましても、海外の政治経済情勢の影響には十分留意する必要があるものの、国内IT需要は堅調に推移するものと考えております。

当社は、好調な事業環境の下、前期に続き売上収益、営業利益ともに、過去最高値の更新を目指してまいります。

また配当につきましても前期は対見通し+5円となる年間85円、当期は株主様への還元を強化する観点から、配当性向の目安を50%に引上げ、対前期+49円の年間134円を予定しております。

以前から頭出しさせていただいております通り、現行の中期事業方針が計画を上回るペースで進捗している事および、外部環境やITメガトレンドが大きく変化する事を踏まえて、当社の今後の目指す姿として、今回「NSSOL 2030ビジョン」を策定いたしました。

ビジネスモデルの転換と新領域への積極的な進出を図り、営業利益1,000億円レベルの事業構造をめざすものであります。

更に当ビジョンの具現化に向けて2025-2027年度中期事業計画の策定に着手してまいります。

また、本日の取締役会において、7月1日付けでの株式分割の実施を決議いたしました事も併せてお知らせいたします。



最初に、前期の実績からご説明いたします。

I -1. 2024年3月期連結業績 実績

単位:億円

	2023年3月期	2024年3月期	対前年		2024年3月期	対当初見通し	
	実績	実績	差異	増減率	見通し	差異	増減率
売上収益	2,917	3,106	+189	6%	3,050	+56	2%
売上総利益	659	718	+59	9%	700	+18	3%
<売上総利益率>	<22.6%>	< 23.1% >	< +0.5% >		<23.0%>	<+0.2%>	
販売費及び一般管理費	330	366	+36	11%	365	+1	0%
その他損益	-12	-2	+10		0	-2	
営業利益	317	350	+33	10%	335	+15	4%
<営業利益率>	<10.9%>	< 11.3% >	< +0.4% >		<11.0%>	<+0.3%>	
税引前利益	321	354	+33	10%	340	+14	4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	220	242	+22	10%	228	+14	6%

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

前期の売上収益は、**3,106億円**と、対前年同期**+189億円**、**+6%**の増収となりました。

売上総利益は、**718億円**で対前年同期**+59億円**、**+9%**の増、売上総利益率は**23.1%**と対前年同期**+0.5ポイント**の改善となりました。

販管費につきましては、営業力強化や社内基盤整備等を積極的に実施したことから、対前年同期**+36億円増の366億円**となりました。

その他損益の改善も含め、営業利益は対前年同期**+33億円**、**+10%増の350億円**となりました。
冒頭に申し上げました通り、これらは過去最高値となります。

また、見通しに対しては、売上収益が**+56億円**、営業利益が**+15億円**上回る結果となりました。

I -2. サービス・顧客業種別売上収益

単位:億円

	2023年3月期 実績 内コンサル& デジタル	2024年3月期 実績 内コンサル& デジタル	対前年差異 内コンサル& デジタル	コメント
ビジネスソリューション	1,833 <364>	1,926 <381>	+93 <+17>	
産業・鉄鋼	893 <152>	926 <143>	+34 <-9>	鉄鋼増、運輸減
流通・プラットフォーム	595 <118>	605 <116>	+9 <-2>	PF、テレコム増
金融	345 <94>	395 <121>	+50 <+27>	メガバンク向け等増
コンサルティング& デジタルサービス	703 <1,068>	748 <1,129>	+45 <+61>	官公庁、DWS、クラウド好調
子会社等	380	432	+52	地域子会社・JV増
合計	2,917	3,106	+189	
(参考) 日本製鉄向け	579	625	+46	
(参考) 官公庁・教育研究機関等向け	300	270	-30	

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6

サービス・顧客業種別売上収益の状況であります。

ビジネスソリューションの売上は1,926億円で、対前年同期+93億円の増収です。

内訳は、

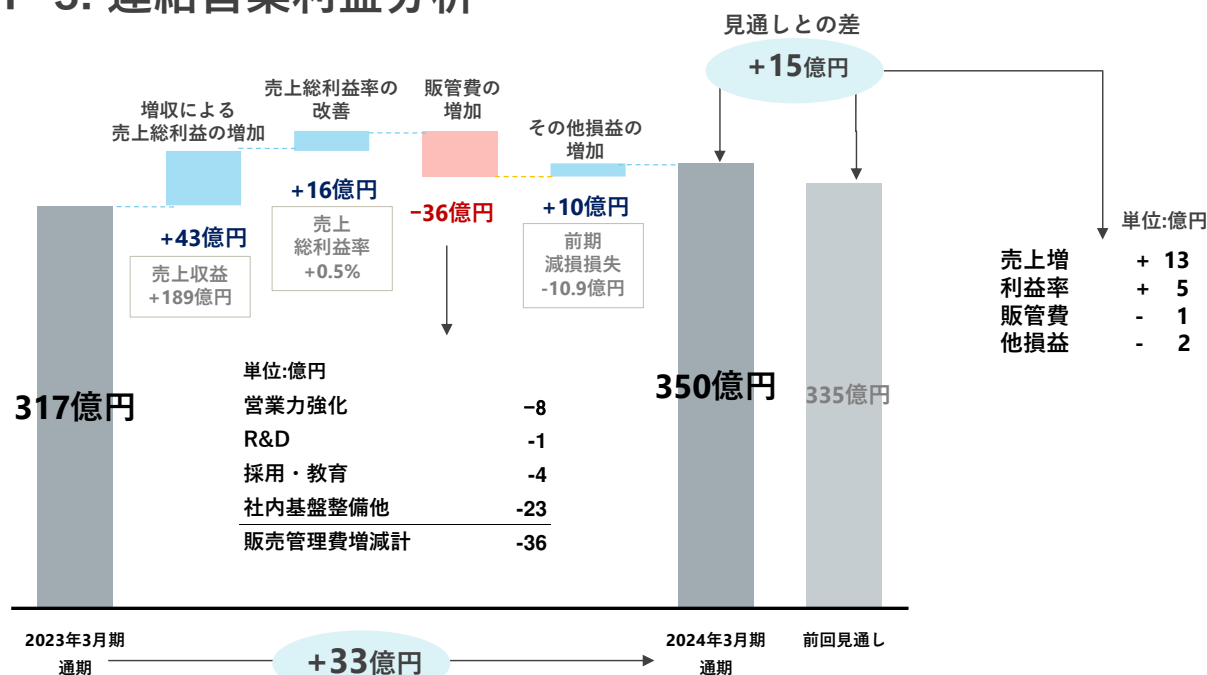
- ・産業・鉄鋼は、日本製鉄向けが引き続き好調で、対前年同期+34億円の増
- ・流通・プラットフォームは、対前年同期+9億円の増、
- ・金融は、メガバンク等中心に、対前年同期+50億円の増となっております。

コンサルティング&デジタルサービスは、デジタルワークスペースソリューション、クラウドに加え、オラクルビジネスについても好調で、売上は748億円と対前年同期+45億円の増収であります。

子会社等は地域子会社、JV共に好調に推移し、対前年同期+52億円の増収となる432億円となっております。

尚、日本製鉄向けは対前年同期+46億円の増収となる625億円、官公庁・教育機関等向けは、2022年度の大規模案件の影響を相当程度挽回し、対前年同期-30億円減の270億円となっております。

I-3. 連結営業利益分析



7

営業利益の対前年同期分析であります。

営業利益は、前年同期317億円から+33億円増益の350億円となりました。

売上総利益は、

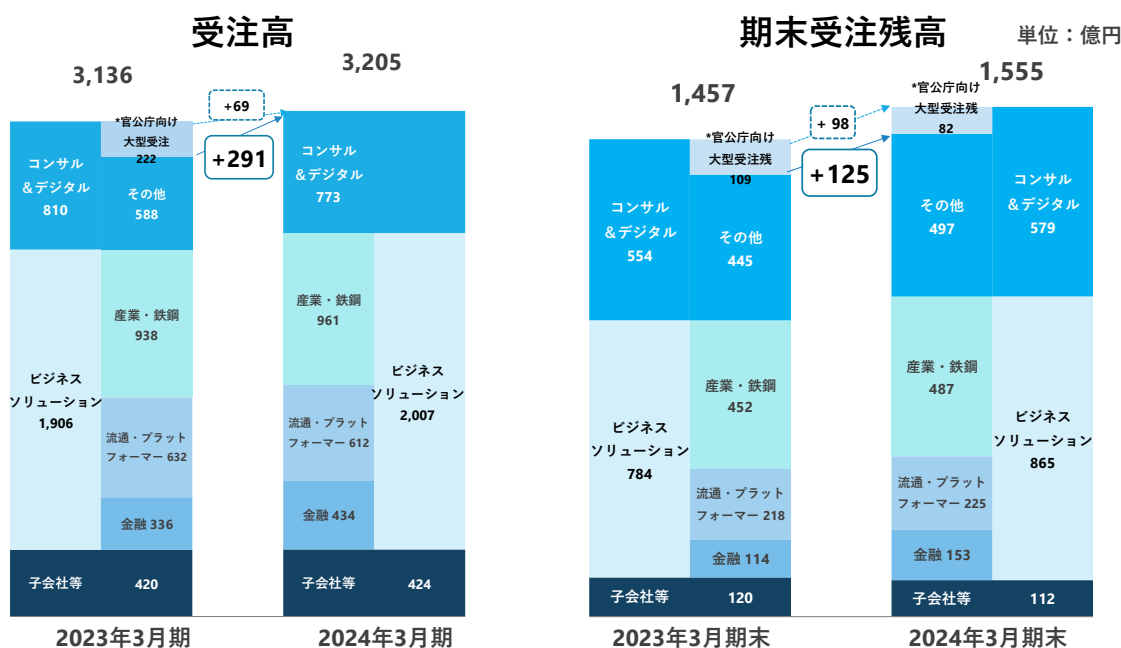
- ・増収による効果で+43億円、
- ・売上総利益率の改善効果で+16億円、
合わせて+59億円の増加となりました。

一方、販管費は、

SEによる受注活動サポート等の営業支援費用の増加に加え、採用・教育といった人的資本強化策や社内基盤整備の推進等により、ほぼ計画通りの+36億円の増となりました。

なお、見通しとの差を右側に記載しておりますが、増収効果と利益率の改善等により、対見通し+15億円となりました。

I -4. 2024年3月期 受注高・期末受注残高



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8

通期の受注高と期末の受注残高の状況です。

左側の受注高につきましては、2022年度は官公庁向けで222億円の大型受注がございました。

2023年度はその影響を除けば前期比+291億円、それを含んでも前期比+69億円の受注増という結果となりました。
特に金融機関向けの受注が大変に好調な年であったかと思えます。

右側の受注残高につきましても同様で、大型案件除きでは2022年度末比+125億円、大型案件を含んでも2022年度末比+98億円という受注残の状況であります。

引き続き営業活動を強化し、受注を積み上げてまいりたいと存じます。

I -5. ROE・政策保有株式の状況

2022年度ROE
11.0 %

2023年度ROE
11.1 %

+0.0 %

2023年3月末
政策保有株式残高
396億円

2024年3月末
政策保有株式残高
599億円

対前期末	+203億円
売却	-71億円
株価上昇	+274億円
資本提携	+1億円

ROEにつきましては、前期比ほぼ横ばいの11.1%となりました。

政策保有株式につきましては、2022年4月に開示しました200億円の削減方針に則り前期は、71億円の売却をおこないましたが、株価上昇の影響が274億円に上ったこともあり、残高としては、+203億円の増加という結果になりました。

今期も方針通り、引き続き売却を進めてまいります。



次に当期の業績見通しをご説明します。

Ⅱ-1. 経営環境及びサービス・顧客業種別市場認識

経営環境	国内IT投資の基調は引き続き堅調 海外の政治経済情勢を起因とするリスク等を注視		
サービス・顧客業種別市場認識	産業・鉄鋼	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン強靱化、プロセス改善、脱ホスト、データドリブン経営等のIT需要は引き続き堅調 ● 日本製鉄では生産構造対策案件、DX施策の展開、サプライチェーン全体の改革・強化に加え、グループ各社のIT所要も増加 	
	流通・プラットフォームフォーマー	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部顧客の投資絞り込みは継続するものの、成長分野へのシフト等によりIT投資全体としては回復傾向 ● テレコムでは金融サービスやスマートライフ系といった事業領域への投資が活況、5G関連需要も本格化へ 	
	金融	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的なIT投資は継続 ● 資産運用立国に向けての施策が本格始動 ● サステナブルファイナンスやエンベデッドファイナンスなどのニーズも顕在化 	
	コンサル&デジタルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● IT人材不足に伴うアウトソーシング、予測AI/データマネジメント基盤、クラウドシフト等の需要が旺盛 ● 生成AIを含むAI活用ソリューションやデータセキュリティ分野のニーズも増加 	

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

11

全般的な経営環境につきましては、海外の政治経済情勢は引き続き不透明であり、注視する必要はあるものの、国内のIT需要は本年も堅調に推移するものと予想しております。

分野別に見ましても、一部のお客様において投資の絞り込みの動きは見られるものの、全体としてはどの分野におきましてもデータドリブン経営、AI活用による業務効率化、レガシーシステムの刷新、IT人材不足への対応等々、私共に寄せられるご要望は、その規模に加えまして、質の面につきましても大変に高いものがあると実感しております。

私共はお客様のご期待に応えるべく、技術・研究開発の強化を図りながら、一つ一つの課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

II -2. 2025年3月期 業績見通し

単位:億円

	2024年3月期	2025年3月期	対前年	
	実績	見通し	差異	増減率
売上収益	3,106	3,300	+194	6%
売上総利益	718	770	+52	7%
<売上総利益率>	<23.1%>	< 23.3% >	< +0.2% >	
販売費及び一般管理費	366	410	+44	12%
その他損益	-2	0	+2	
営業利益	350	360	+10	3%
<営業利益率>	<11.3%>	< 10.9% >	< -0.4% >	
税引前利益	354	365	+11	3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	242	245	+3	1%
ROE	11.1%	10.2%	-0.9%	

中期事業方針を上回る成長を目指す。

引き続き売上総利益率の改善を目指す。

技術・研究開発投資を中心に増加

億円	増減
営業力強化投資	+6
技術・研究開発投資	+23
人的資本強化投資	+8
共通管理費用	+7
販管費計	+44

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

12

当期の業績見通しであります。

売上収益につきましては、**+6%成長**となる**+194億円増の3,300億円**、
売上総利益につきましては、増収効果に加えて、引き続き利益率の
改善を進める事により、**+7%成長**となる**+52億円増の770億円**を
見込んでおります。

一方、販管費につきましては、この後ご説明いたします
「NSSOL 2030ビジョン」実現に向けた技術・研究開発投資の強化を主体に
+44億円の増加を計画しています。

尚、販管費につきましては、従来の区分では当社の取組の実態が少々
伝わりにくかったという観点を踏まえ、当期から分類を変更しております。

営業利益につきましては、**+3%、+10億円増の360億円**、
当期純利益につきましては、**+1%、+3億円増の245億円**の見通しで
あります。

尚、ROEの見通しにつきましては**10.2%程度**を見込んでおります。

II -3. サービス・顧客業種別売上収益見通し

単位:億円

	2024年3月期 実績	2024年3月期 実績 (組換え後)	組換え 影響*	2025年3月期 見通し	対前年 差異	コメント
ビジネスソリューション	1,926	1,892	-34	1,970	+78	
産業・鉄鋼	926	892		925	+33	鉄鋼、自動車・部品系増
流通・プラットフォーム	605	605		635	+30	旅行、小売り領域、テレコム増
金融	395	395		410	+15	メガバンク向増
コンサルティング& デジタルサービス	748	782	+34	850	+68	クラウドリフト、データマネジメント 領域活況
子会社等	432	432		480	+48	地域子会社・JV・海外子会社共に増
合計	3,106	3,106		3,300	+194	
(参考) 日本製鉄向け	625	625		640	+15	
(参考) 官公庁・教育研究機関等向け	270	270		250	-20	

*2024年4月より一部の分野につき、産業・鉄鋼からコンサルティング&デジタルサービスへの組換えを実施しており、前期比較につきましては、組換え後の数値との比較を掲載しております。

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

13

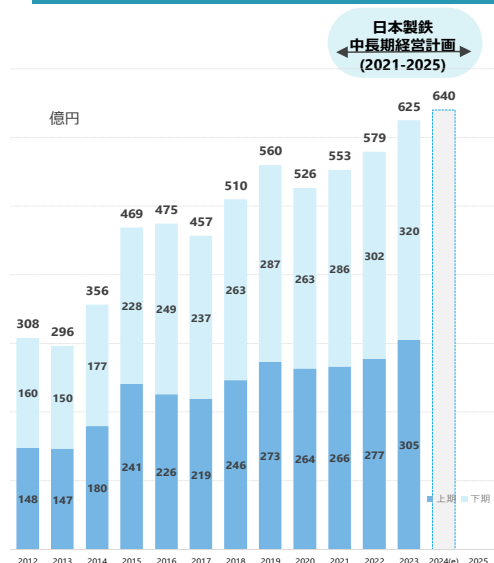
顧客、分野別の売上収益の見通しです。

どの分野につきましても、堅調なIT需要を受けて、増収の見通しとなっております。

尚、この4月から一部、産業・鉄鋼分野からコンサルティング&デジタルサービス分野への組換えを実施しておりまして、その影響も含めた数値に変更をしております。

II - 4 . 日本製鉄向けの状況

1. 日本製鉄向け売上の推移



2. DX取り組み内容

データとデジタル技術を駆使して、
業務プロセス改革・生産プロセス改革を推進

● 数理最適化技術を応用した業務改革
→ **計画時間を70%削減**



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

14

日本製鉄向けの状況であります。

左のグラフに記載の通り、日本製鉄向け売上の当期見通しは640億円とDX施策を中心に順調に増加しております。

DXの取り組み内容の例といたしまして、

製鋼工程の生産計画策定作業時間の70%削減を実現した「数理最適化技術を応用した業務改革を実現する生産計画システムの開発」の内容をご紹介させていただいておりますので、ご参照いただければと存じます。

Ⅱ-5. 株式分割および配当性向の引上げ（2025年3月期より）

1. 株式分割 株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図るため、1株を2株に分割
(2024年7月1日効力発生 P33ご参照)

2. 配当方針の変更

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当、及び事業成長に向けた投資や事業リスクに備えた内部留保を確保することを基本としております。配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向**50%**を目安としております。

	2024年3月期実績		2025年3月期見通し	
			株式分割前	株式分割後
EPS	265.0 円/株		267.8 円/株	133.9 円/株
1株当たり 年間配当金	対見通し 85 円 (+5 円)		対前期 134 円 (+49 円)	67 円
	中間配当：40円 期末配当：45円		中間配当：67円 期末配当：67円	中間配当：33.5円 期末配当：33.5円
連結配当性向	32.1%		50.0%	50.0%

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

16

株式分割および配当方針の引上げにつきご説明いたします。

まず、本年7月1日を効力発生日として、株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図るため、1株を2株に分割する株式分割を実施いたします。

配当につきましては、まず前期については見通しより増益で着地できたことを踏まえまして、期末配当を見通し対比+5円増配となる45円とし、中間配当と合わせて、通期85円の配当といたします。

当期につきましては、この後ご説明する「NSSOL 2030ビジョン」に取り組む中で、資本効率の向上の観点から、創出されるキャッシュフローについては、積極的に株主の皆様へ還元すべきと考え、配当性向の目安を従来の30%から50%へ大幅に引き上げる事といたします。

この結果、当期の配当見通しは通期で、株式分割前のベースでは対前期+49円の増配となる134円を予定しております。

なお株式分割後では、一株当たり配当は67円となる予定です。

III

2021-2025年度 中期事業方針の進捗

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

次に、中期事業方針の進捗についてご説明させていただきます。

Ⅲ-1. 中期事業方針の進捗実績

	～2023年度 累計実績 (2021～2023)	中期事業期間 目標 (2021～2025)
連結売上成長率 (CAGR)	7.2%	5～6%
注力領域売上成長率 (CAGR)	11.2%	10%以上
事業基盤強化投資	3カ年累計 404億円	500～750億円/5カ年 (3カ年換算 300～450億円)
DX加速投資	3カ年累計 105億円	100～150億円/5カ年 (3カ年換算 60～90億円)

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

18

中期事業方針の進捗をまとめたものであります。

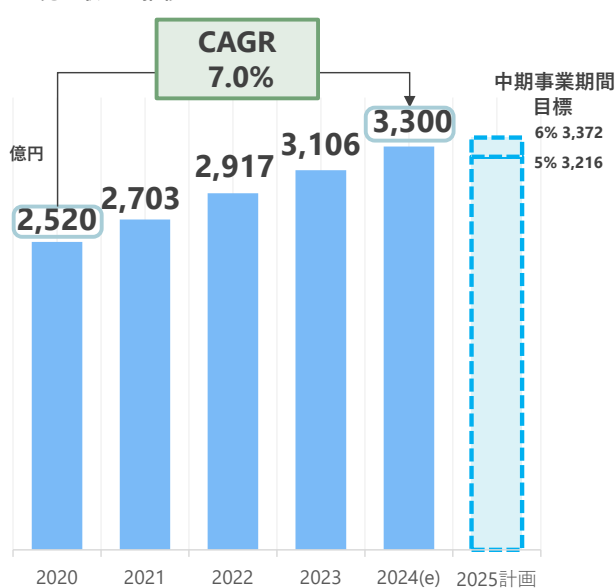
前期2023年度までの3年間の累計で、
連結売上成長率は年率で7.2%と、中期事業方針目標の
成長率年率5～6%を上回る実績で進捗しております。

また、注力領域売上成長率も11.2%と、
中期事業方針目標の年率10%以上を上回るペースです。

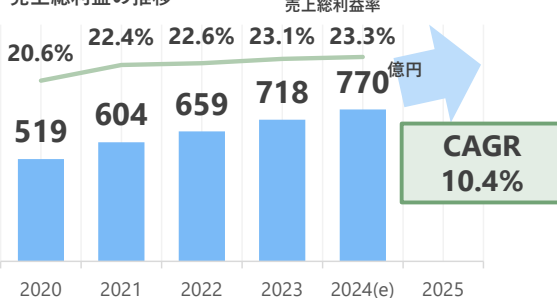
事業基盤強化投資は、3カ年累計実績で404億円、
DX加速投資は、累計で105億円の実績であり、
中期事業方針を上回る積極的な投資を実行してまいりました。

Ⅲ-2. 売上成長率の進捗見通し

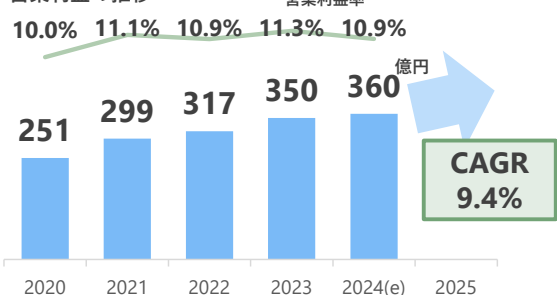
売上収益の推移



売上総利益の推移



営業利益の推移



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

19

個別の指標の当期見通しではありますが、

まず、左側のグラフをご覧くださいと、売上成長率は、4か年累計で年率7%の成長となり、目標を上回る計画です。

次に右側のグラフをご覧くださいと、利益につきましては、

- ・売上総利益の成長率は年率10.4%
 - ・営業利益の成長率は年率9.4%、
- と、こちらも順調に成長しております。

「付加価値重視のオペレーション」の浸透により、利益率も着実に改善していることが、お判りいただけるかと存じます。

Ⅲ-3. 注力領域の進捗見通し



デジタル製造業

日本製鉄のフィールドを持つ強みを活かし、日本製鉄および製造業のDX推進を支援



プラットフォーム支援

日本有数のプラットフォームのお客様をサポートし、企画・構想支援からシステム開発まで多様なニーズを二人三脚で伴走・支援



デジタルワークスペースソリューション

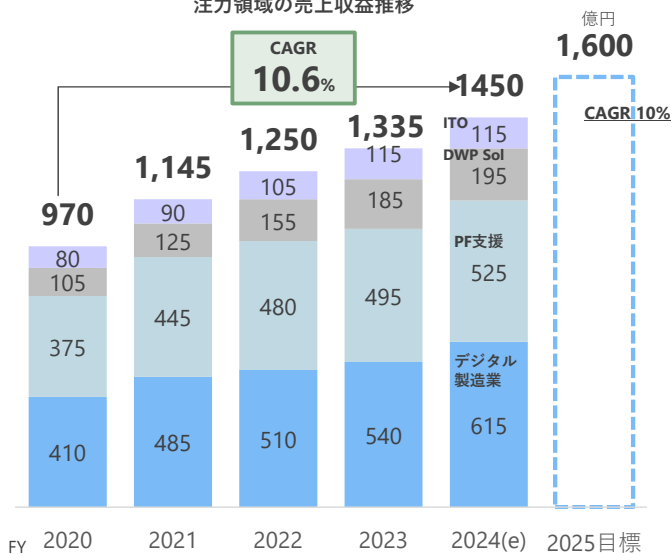
各種AIソリューション等を最適に組み合わせ、最新のテクノロジーを駆使した安心・快適、かつ高生産性を実現する環境をご提供



ITアウトソーシング

ITインフラ・運用ニーズの変化に対し、データセンターを含めたマネージドクラウドサービスから統合運用までを一貫して提供する「NSFITOS」を中心に事業成長

注力領域の売上収益推移



注力領域につきましても、引き続き目標を上回るペースでの進捗を計画しております。

Ⅲ-4. 成長に向けた投資

◆2025中期事業方針

・事業基盤強化投資 100～150 億円/年

・DX加速投資 20～30 億円/年

◆進捗状況

投資合計	2025 中期事業方針				2021～2024 4カ年平均
	2021	2022	2023	2024計画	
120～180億円/年	179 億円	168 億円	162 億円	190 億円	175 億円

約180 億円/年 規模の積極的な投資を実施中

- 事業基盤強化投資
 - ・昨年1月に組成したトランスフォーメーション推進本部を中心に、業務効率化・社員エンゲージメント向上に資する取組みを加速
 - ・次世代開発プロセス実現に向けた投資
- DX加速投資
 - ・DX人材の集中的な育成を目的に4～500名/年規模の戦力転換教育(リスクリング)プログラムを整備
 - ・新規ソリューション創出等に対する投資を強化

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

21

投資についても積極的に推進しております。

当期は190億円の投資を見込んでおりますが、

事業基盤強化投資では、特に社内DXについて、2023年1月に組成したトランスフォーメーション推進本部を中心に取組みを加速しており、社内IT環境の高度化など業務効率化、および社員エンゲージメント向上に資する取組みを進めております。また、先ほどご紹介したような次世代開発プロセスの実現に向けた投資も積極的に推進します。

またDX加速投資については、DX人材の集中的な育成や新規ソリューション創出等に対して、投資を進めております。

IV. NSSOL 2030 ビジョン

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

22

続いて、この度策定しました、「NSSOL2030ビジョン」をご説明いたします。



当社は2025年4月に設立25年目を迎えます。

その2025年度を第二の創業期と位置づけ、次のステージに向けた
新たな活動をスタートしたいと考えております。

その先駆けとして、2030年に向けた 私たちの目指す姿、
NSSOL 2030 ビジョンを策定しました。

中長期外部環境とITメガトレンド

社会・経済の変化

労働人口減少

社会活動へのデジタル技術活用拡大

企業によるデジタルビジネスの拡大

環境・気候変動への政策強化

国際貿易規制の変化

トレーサビリティの重要性の高まり

ITメガトレンド

生成AI等新技術によるシステム開発・運用の変革

IT技術者の減少と、開発生産性が飛躍的に向上する新技術の登場により、システム開発・運用が変化

デジタルサービスの拡大

各業種特有機能を利用できるインダストリークラウドが普及し、企業のデジタルビジネスへの参入障壁が低下

業界横断プラットフォームの本格化

社会的ニーズの高まりと技術の発展により業界横断で情報流通・活用を促進するプラットフォームが本格化

技術革新

AI/生成AI

ローコード/ノーコード

IoT/エッジ

クラウド

セキュリティ

匿名/暗号化

ブロックチェーン

データスペース

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

24

2030年に向け、当社を取り巻く外部環境は、さらに大きく変化していくと考えております。

デジタル化の一層の進展や労働人口の減少、環境問題の深刻化など、様々な社会・経済の変化が想定される一方で、ITの技術革新が、これまで解決できなかった問題に対して、解決策をもたらす可能性も広がっています。

そのような中、次の3つを、当社にとって重要なITトレンドとして捉えております。

1つ目は、「新技術によるシステム開発・運用の変革」です。

IT技術者が減少する中、生成AIなどの新しい技術により、システム開発や運用における生産性が飛躍的に向上することは間違いありません。

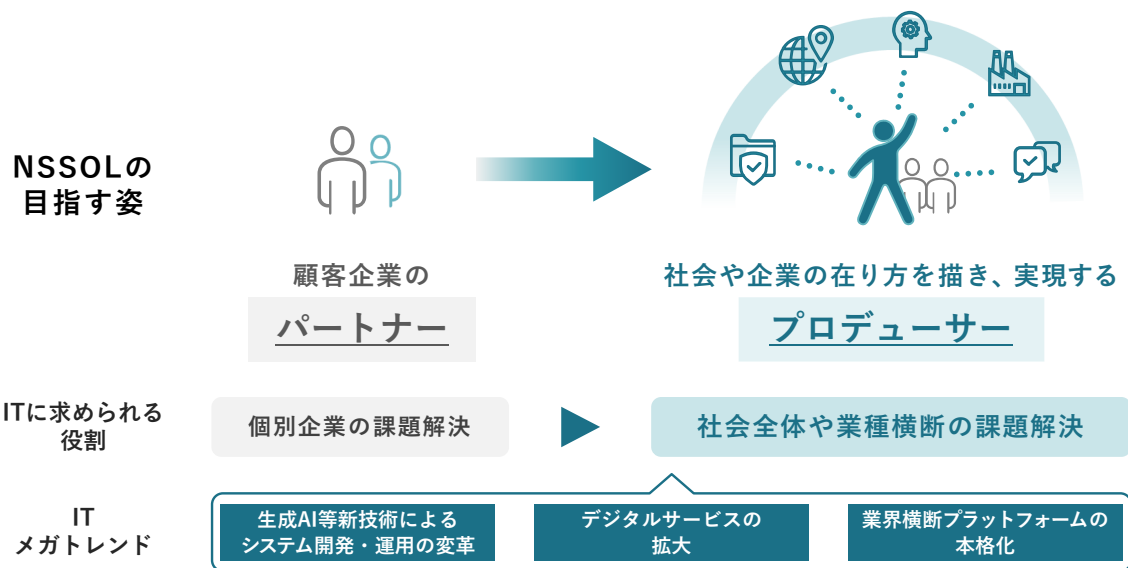
2つ目は、「デジタルサービスの拡大」です。

デジタル技術を使ったサービスが次々とリリースされていく中で、業種特有のインダストリークラウドのような形で提供される、機能的なプラットフォームなども登場してくると思います。

3つ目は、「業界横断プラットフォームの本格化」です。

社会的ニーズの高まりと技術の発展により、業界横断での情報活用を促進するプラットフォーム利用が本格化してくるだろうと考えています。

今後の当社の目指す姿の方向性



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

25

こういった外部環境の変化やITメガトレンドを受けて、ITに求められる役割は、従来の個別企業の課題解決から、社会全体や業種横断の課題解決に拡大していく事になります。

私たちも、これまでの顧客企業の「パートナー」という立ち位置から、社会や企業の在り方を自らが描き、実現する「プロデューサー」を目指す姿として、生まれ変わっていきたいと思います。

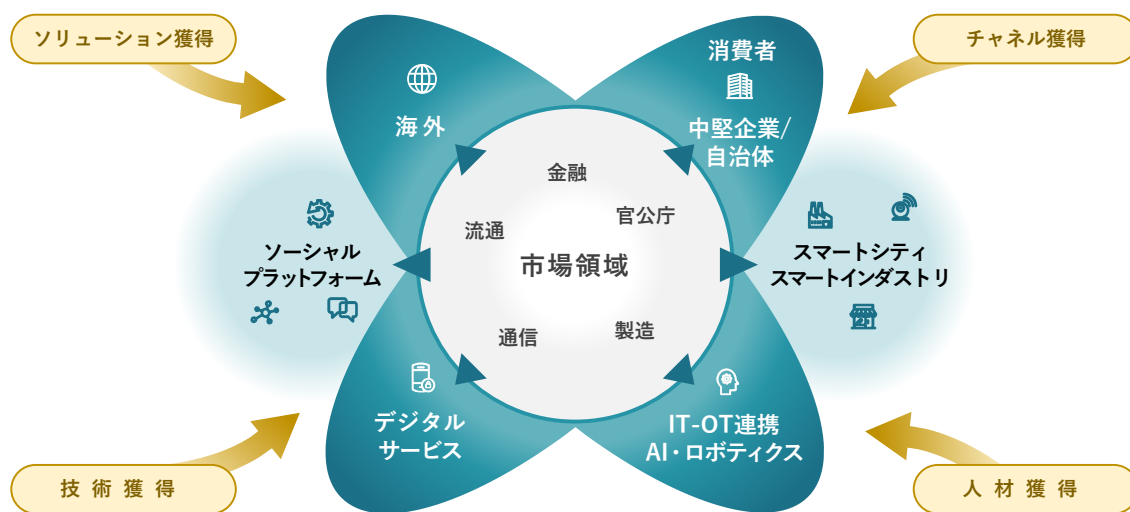


そこで、次のビジョンとして、私たちの2030年に向けた目指す姿を「**Social Value Producer with Digital**」と決めました。

私たちの強みとする知見と技術力を活用して、広く社会や産業界を支える新たな価値を創造することで、産業・社会全体の変革・発展・成長をリードしていきたいと思えます。

ビジョン実現に向けた取組み①「価値提供対象の拡大」

自らのケイパビリティを強化し、新たな領域に価値提供の対象を拡大します



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

27

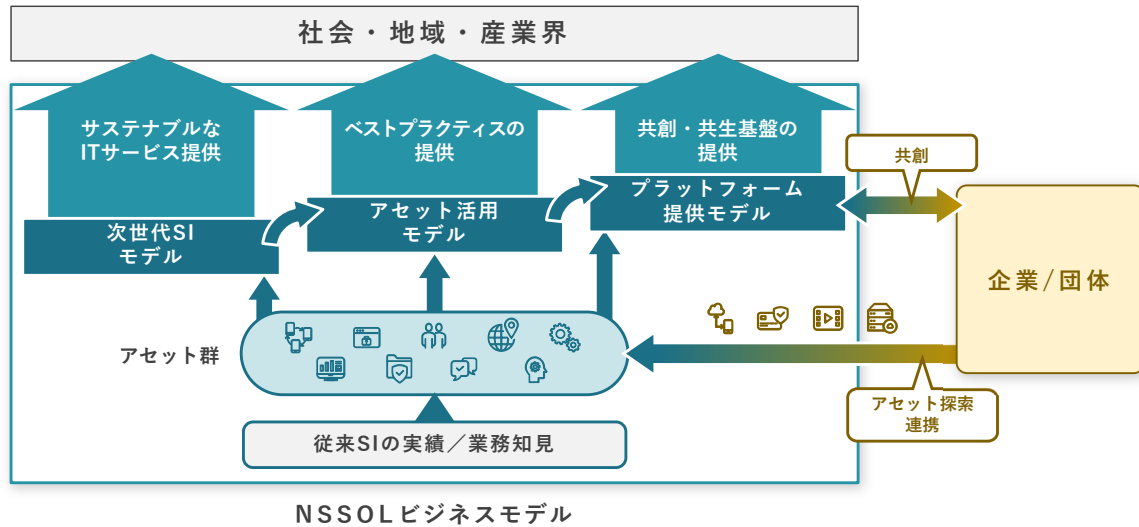
このビジョンの実現に向けた取組みを具体的に説明します。

1つ目は価値提供対象の拡大です。

従来の市場領域における成長のみならず、海外や国内中堅企業、自治体や消費者、またデジタルサービスやIT-OT連携といった当社としては新しい市場に、私たちの価値提供対象を拡大していきたいと考えております。

ビジョン実現に向けた取組み②「多様な価値提供方法の実現」

様々な手段を通じて、新たな価値の提供に取り組めます



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

28

2つ目は多様な価値提供方法の実現です。

従来のSIモデルで蓄積したアセットをコアにして、3つのビジネスモデルを通して新たな価値を提供します。

1つ目が次世代SIモデルを通じたサステナブルなITサービスの提供です。市場全体でIT技術者の需給がひっ迫する中でも、新しい技術を積極的に取り込んだ革新的なSIモデルで、サステナブルなITサービスを実現します。

2つ目がアセット活用モデルを通じた、ベストプラクティスの提供です。我々の業務知見をアセット化し、各業種や業務の課題解決や高度化に貢献します。

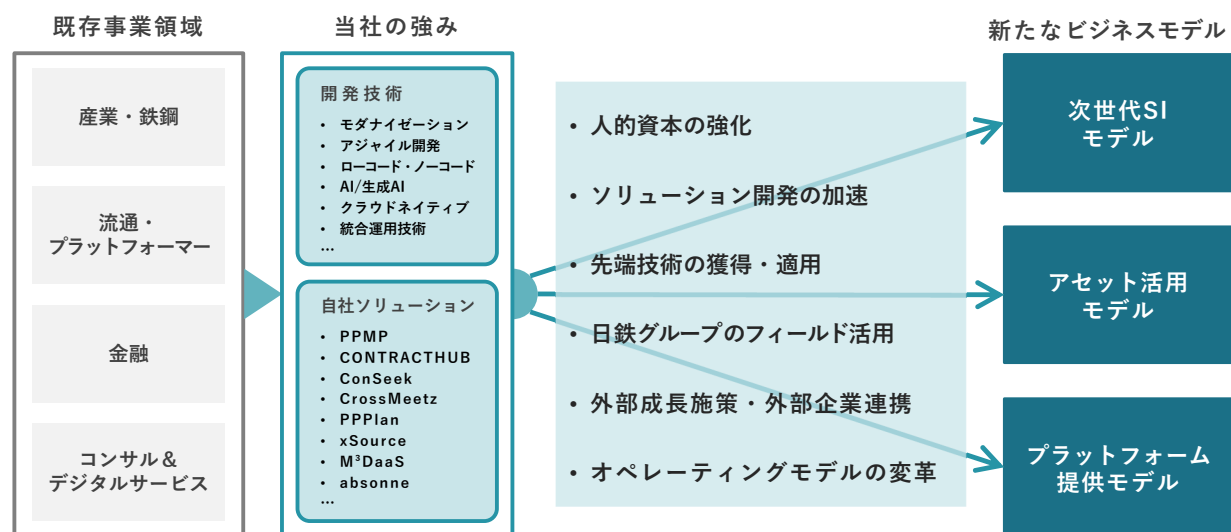
3つ目がプラットフォーム提供モデルを通じた、共創・共生基盤の提供です。

業界横断的なサプライチェーンプラットフォームや情報流通プラットフォームを提供し、社会全体の課題解決に貢献します。

また多様な企業や団体とも連携し、これらの取り組みを実現してまいります。

ビジョン実現に向けた取組み③「知見と技術力の活用と強化」

当社の強みである知見と技術力を活用・強化し、新たなビジネスモデルにシフトします



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

29

3つ目は、これまで培ってきた「知見と技術力の活用と強化」を通じたビジネスモデル変革の道筋です。

当社はこれまでの事業活動の中で、開発技術を磨き、蓄積した知見を自社ソリューションという形にして、事業拡大を続けてまいりました。

今後は、これらのアセットをコアにして、

- ・ 人的資本の強化
- ・ ソリューション開発の加速
- ・ 先端技術の獲得と適用
- ・ 日鉄グループのフィールド活用
- ・ 外部成長施策や外部企業との連携
- ・ オペレーティングモデルの変革

などを通じて、

3つの新たなビジネスモデルへのシフトにチャレンジしていきたいと思えます。

目指す構造

業界トップレベルの事業成長により、2030年代のできるだけ早期に、以下構造の実現を目指します

	2025年3月期 見通し	目指す構造
売上高	3,300 億円	5,000 億円 レベル
営業利益	360 億円	1,000 億円 レベル
営業利益率	10.9 %	20 % レベル
ROE	10.2 %	15 % レベル

- ・ 人的資本の強化、ならびにアセット化に向けたソリューション開発等に1,000億円以上投資
- ・ M&Aを通じた1000億円規模の事業創出
- ・ 企業価値向上に向けた資本効率のさらなる向上

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

30

これまで説明してきた取り組みを通じて、次のような事業構造を2030年代のできるだけ早いタイミングで実現することを目指します。

まず、利益成長にこだわり、営業利益1,000億円レベルを目指します。営業利益率も20%レベルへと、高収益な事業構造へと転換していきます。

結果として、売上高5,000億円レベルで、営業利益1,000億円レベルを実現する事となります。

これらの実現に向けて

当社の成長に最も重要な人的資本やソリューション開発などに1,000億円以上の投資を実施します。

加えてオーガニックな成長だけでなく、M&Aを通じた1,000億円規模の事業創出にもチャレンジし、そのために2,000億円規模の投資を実行していく考えです。

これらの活動を通して、ROEを15%レベルまで向上させ、企業価値を向上させていきたいと考えております。

ビジョンと中期事業計画の位置づけ

今年度、ビジョンを具体化する次中期事業計画を策定し、公表予定です



Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

31

今回ご説明したビジョンは、あくまでこれから当社が目指す姿ということで、

その実現に向けた具体的な道筋は、中期計画の中で検討してまいりたいと思います。

2030年度までの6年間で、前半3年間、後半3年間の中期計画に分け、まず前半3年間で、成長に向けた土台作りをしっかりとやった上で、後半3年間で成長を加速させていきたいと考えております。

まずは前半3年間の2027中期を今年度検討し、また皆様にご説明したいと考えております。

当社からの説明は以上であります。



参考資料

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

V-1. 株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更

1. 株式分割について

- (1) 目的 株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図る。
- (2) 分割割合 1株につき2株
- (3) 増加株式数
 - ①発行済株式総数 (分割前) 91,501千株 → (分割後) 183,002千株
 - ②発行可能株式総数 (分割前) 423,992千株 → (分割後) 732,008千株
- (4) 日程
 - ①基準日公告日 2024年6月13日 (木)
 - ②分割の基準日 2024年6月30日 (日)
※当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2024年6月28日 (金)
 - ③分割の効力発生日 2024年7月 1日 (月)

2. 分割に伴う定款の変更

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年7月1日をもって当社定款第6条の発行可能株式総数を変更

V-2. 2024年3月期半期別連結業績

単位：億円

	2023年3月期			2024年3月期			対前年（斜字は増減率）			対見通し 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上収益	1,347	1,570	2,917	1,448	1,659	3,106	7%	6%	6%	+56
売上総利益 <売上総利益率>	304	355	659	334	384	718	10%	8%	9%	+18
	<22.6%>	<22.6%>	<22.6%>	<23.1%>	<23.2%>	< 23.1% >	<+0.5%>	<+0.6%>	< +0.5% >	<+0.2%>
販売費及び一般管理費 その他損益	165	165	330	187	180	366	13%	9%	11%	+1
	0	-12	-12	-1	-1	-2	+22	+14	+36	-2
							-1	+11	+10	
営業利益 <営業利益率>	140	177	317	146	204	350	5%	15%	10%	+15
	<10.4%>	<11.3%>	<10.9%>	<10.1%>	<12.3%>	< 11.3% >	+6	+26	+33	+15
							<-0.3%>	<+1.0%>	< +0.4% >	<+0.3%>
税引前利益	142	179	321	150	204	354	5%	14%	10%	+14
親会社の所有者 に帰属する 当期利益	94	126	220	95	147	242	1%	17%	10%	+14
							+1	+21	+22	+14

Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

34

V-3. 半期別サービス・顧客業種別売上収益実績

単位:億円

	2023年3月期			2024年3月期			対前年			対見通し 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
ビジネスソリューション	890	944	1,833	929	998	1,926	+39	+54	+93	-4
産業・鉄鋼	437	456	893	456	471	926	+19	+15	+34	-19
流通・プラットフォーム	289	307	595	292	313	605	+3	+6	+9	-20
金融	164	181	345	182	214	395	+18	+32	+50	+35
コンサル& デジタルサービス	290	413	703	320	429	748	+29	+15	+45	+38
子会社等	167	213	380	199	233	432	+32	+19	+52	+22
合計	1,347	1,570	2,917	1,448	1,659	3,106	+101	+89	+189	+56
(参考) 日本製鉄向け	277	302	579	305	320	625	+28	+18	+46	+15
(参考) 官公庁・教育研究機関等向け	100	200	300	91	179	270	-9	-21	-30	+13

V-4. 半期別連結業績見通し

単位:億円

	2024年3月期			2025年3月期見通し			対前年(斜字は増減率)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	1,448	1,659	3,106	1,530	1,770	3,300	6%	7%	6%
売上総利益	334	384	718	355	415	770	6%	8%	7%
<売上総利益率>	<23.1%>	<23.2%>	<23.1%>	<23.2%>	<23.4%>	< 23.3% >	<+0.1%>	<+0.2%>	< +0.2% >
販売費及び一般管理費	187	180	366	205	205	410	10%	14%	12%
その他損益	-1	-1	-2	0	0	0	+18	+25	+44
営業利益	0	0	0	0	0	0	+1	+1	+2
営業利益	146	204	350	150	210	360	2%	3%	3%
<営業利益率>	<10.1%>	<12.3%>	<11.3%>	<9.8%>	<11.9%>	< 10.9% >	<-0.3%>	<-0.4%>	< -0.4% >
税引前利益	150	204	354	152	213	365	1%	4%	3%
親会社の所有者 に帰属する 当期利益	95	147	242	98	147	245	+2	+9	+11
							3%	0%	1%
	95	147	242	98	147	245	+3	-	+3












Copyright ©2024 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

36

V-5. サステナビリティ経営の取組み

パーパスに基づくサステナビリティ経営を推進。

昨年9月に「統合報告書」第2版を、今年3月に「サステナビリティ・ケースブック」初版を発行。

マテリアリティ	主な取組み	主なSDGs
・ ITを通じた社会課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 各種製造業の業務システム化・IT化を通じた業務効率化、労働力人口減少対策への貢献 官公庁、研究機関、金融機関、鉄道・通信等公共サービス事業者、プラットフォーム等に対するシステム開発他を通じた国民生活基盤の整備・向上への貢献 地方自治体のDX・スマートシティ推進支援を通じた地域課題解決への貢献 M3DaaS等デジタルワークスペースソリューションによる働き方変革促進への貢献 仕事の悩みの分析・整理ツール「なやさば」を通じた、労働充実感の向上とその先にある生産性への貢献 電子契約サービス「CONTRACTHUB」や「FINCHUB@absonne」によるペーパーレス化への貢献 IoTソリューション「安全見守りくん」による現場作業に対する安全性確保への貢献 	   
・ 社会インフラとしてのITサービス安定供給	<ul style="list-style-type: none"> クラウドネイティブ等先端技術を適用した堅牢で効率的なITサービスの提供 	
・ 多様な人材が活躍できる場の創出	<ul style="list-style-type: none"> 女性リーダー育成施策による女性管理職の創出 多様な属性・特性を持つ社員の相互理解を促進させる専用ポータル設置等、各種D&I施策の推進 「自己選択型」能力開発の推進（自律型研修受講システム等の整備） 自律型学習組織「NSSOLアカデミー」の活動推進 社内公募制度、キャリア支援制度、兼業・副業制度等、多様で自律的なキャリアを支える環境整備 在宅勤務制度拡充、総労働時間削減、年次有給休暇取得促進 全社員参加型エンゲージメント向上サイクルの推進（部門ごとの対話会及び自律的活動の推進） 	  
・ 環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量 Scope1+2 削減目標達成に向けた着実な推進継続、グリーン電力の導入促進 高エネルギー効率のデータセンターによるクラウドサービスの提供 	 
・ 信頼される社会の一員としてのガバナンス/コンプライアンス追求	<ul style="list-style-type: none"> 監査等委員会設置会社としてコーポレートガバナンスの一層の充実 「グローバル・ビジネス・コンダクト」の徹底 リスクマネジメント体制の強化 	

V-6. 主要ニュース・プレスリリース

- 2024年2月1日 「働きがいのある企業ランキング2024」にて15位に入賞
-
- 2024年2月20日 人的資本可視化サービス「ソシキノミライ 人的資本シリーズ」提供開始～データ駆動型の人的資本経営実践を支援～
-
- 2024年2月26日 日鉄ソリューションズの電子取引・契約ソリューション「CONTRACTHUB@absonne」がITRの調査にて電子契約サービス市場の従業員規模1000名以上において7年連続シェアNo.1を獲得
-
- 2024年2月27日 New Relic社と販売代理店契約を締結 オブザーバビリティプラットフォーム「New Relic」の提供を開始
-
- 2024年3月26日 エネルギー業界のDX実現を目指し、北海道電力にHOTnetとともにローカル5Gシステム（4.8GHz帯）を導入
-
- 2024年4月15日 「東京レインボープライド2024」に協賛
-
- 2024年4月18日 大分市と共同でBIツールを活用したデータの可視化・分析の実証実験を実施
-
- 2024年4月18日 筑波大学と、働く人の悩み解消をサポートするツール「なやさぼ」の効果検証実施
～仕事の悩み整理や、辛さ軽減への効果の検証～
-
- 2024年4月19日 大阪大学・神戸大学とのネーミングライツ協定を更新
-
- 2024年4月24日 住信SBIネット銀行向け外為総合インターネットバンキングサービス Swift電文作成サービス導入
～海外送金業務におけるDX推進とISO20022移行対応を実現～



ともに未来を考え
社会の新たな可能性を
テクノロジーと情熱で切り拓く